

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望者全員を正社員化を。

めざせ、均等待遇。

なくそう差別！

ユニオンは労基法裁判に勝利するぞ！

# 非正規社員の均等待遇と正社員化を！

# 未来



全労協・郵政産業労働者  
ユニオン長崎中野支部  
機関紙・「みらい」  
NO. 3837  
18年3月13日(火)  
・Fax 095-828-1953



おはようございます。

郵政産業労働者ユニオンは、18春闘の課題の一つとして、「非正規社員の均等待遇と正社員化」を求めています。日本郵政グループには、約20万人もの非正規社員が働いています。非正規社員の生涯賃金は正社員の約3分の1と言われています。また年収200万円以下のいわゆるワ

キングプアがたくさんいます。この様な収入や待遇では結婚し子育てをしていくのにとっても不安を感じています。

## 18春闘第一波全国統一行動

18春闘第一波行動は、3月4日の「郵政非正規労働者のつどい」そして、3月5日の「本社前集会」と「院内集会」です。

4日の「非正規のつどい」は、未来の前号で報告いたしましたので、5日の行動を紹介します。

### 本社前集会

郵政は正社員の登用試験を行なっていますが、採用の選

考基準は曖昧で、しかもかなりの狭き門となつています。また待遇においても正社員と同じ仕事をしているにもかかわらず賃金、各種手当、休日等格差があります。

この本社前集会を迎えるにあたり、私たちは全国で「均等待遇と正社員化を求める署名」活動を行なってきました。今年は25025筆の署名を集約することが出来ました。署名活動に協力して下さい。皆様に礼を申し上げます。

郵政本社前には悪天候にもかかわらず、全国から郵政ユニオン、共闘の仲間、支援者約200名集合しました。そして、午前11時、私は他の代表者と一緒に日本郵政本社に署名を提出いたしました。私は初めての体験であり、多少緊張していたと思います。本社の担当の方3名を前に、私たちは一人ひとりの思いを述べ、それと同時に署名を渡しました。私の個人的な印象ではありますが、事務的に受け取った感じで、本当に分かってきているのだろうかと思いました。

本社から出ると非正規社員の仲間がマイクを取り、本社に向かって思いを訴えています。ユニオンが本社前集会を行



うよつになつてからの署名の累積は、265805筆にもなります。いったいどれだけの署名を集めれば分かっていただけるのでしょうか。

### 衆議院内集会

13時30分より、衆議院第一議員会館多目的会議室において「郵政に働く非正規社員の均等待遇と正社員化を求める」院内集会に参加しました。会場は約100名の参加で熱気にあふれていました。

忙しい中、山添拓日本共産党参議院議員、本村伸子日本共産党衆議院議員が、私たち非正規労働者の悲痛な思いや

職場での状況を聞いて下さいました。

又、郵政65歳非正規解雇無効訴訟の労働弁護団の萩尾健太弁護士が報告があり、郵政の現場は今、要員不足が大きな問題となつていますが、まだ働けるのに解雇する郵政は何を考えているのでしょうか。

それから、2月21日に勝利判決が出た、西日本20条裁判について、水口洋介弁護士が、年末年始勤務手当、住居手当、扶養手当全額の支給を命じた大阪地裁の判決内容について説明されました。

その後、参加した21名の非正規社員からの報告がありました。パワハラや営業で悩む声が多く聞かれました。集会の最後は、「団結がなければ、春闘に向けての決意を強くしました。」

昨年9月14日の東日本裁判の勝利判決に続き、西日本裁判での判決。司法の場で認められたこの現実を受け止めて、非正規社員と正社員の格差是正にむけて速やかに処遇改善を行う事が、社会的責任となったのではないのでしょうか。18春闘の勝利に向け、一丸となつて頑張りましょう。



期間雇用パート労働者の皆さん! 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1 集-山本, 2 集-向井, 3 集-山田, 郵便-高田, ゆうちよ銀-上筋, 東-松岡, 他支部・分会の役員へ。